

8 公害苦情

平成23年度に受付した公害苦情件数は141件で、前年度の138件に比べ若干増加しました。

公害の種類別の内訳は、大気汚染37件(26%)、水質汚濁33件(23%)、騒音・振動38件(27%)、悪臭21件(15%)となっています。前年度に比べ大気汚染の割合が高まった主な要因は、野外焼却による苦情が増加したためです(前年度23件→31件)。一方で水質汚濁や騒音・振動に関する苦情件数に大きな変化は見られませんでした。

地域的に分類した内訳は、準工業地域の42件が最も多く、次に第1・2種住居地域の29件、市街化調整区域・その他の区域の28件の順となっています。

公害苦情の発生源は、製造業の29件と建設業の26件がほぼ同じ件数ですが、前年度に比べ建築・建設作業から発生した苦情が大幅に増加しました(前年度8件→22件)。また、家庭生活に起因する苦情(野外焼却や油の漏洩等)の件数が依然として多いことも特徴的です。

図8-1-1 公害苦情件数の推移

